

## 2022 年度以降における形成外科領域専門医認定審査についての公示

2018 年 12 月 20 日  
一般社団法人 日本形成外科学会  
理事長 中塚 貴志  
専門医認定委員会  
委員長 木股 敬裕

2022 年度以降の形成外科領域専門医認定審査の申請内容の変更を専門医認定委員会からお知らせいたします。

本年の形成外科領域研修カリキュラムの改訂に伴い、2022 年度以降の領域専門医認定審査申請は、NCD 形成外科疾患大分類が基本となります。

併せて、形成外科専門医制度\*細則第 20 条（研修記録）における「(2) 申請者の受け持った患者で直接手術に関与した **20 症例の症例の一覧表**」ならびに、「(3) 申請者が術者として手術を行った **10 症例についての所定の病歴要約**」も変更されます。

※専門医制度：旧制度であり領域専門医制度（新制度）ではありません。

以下に現行の内容と変更後の内容を示します。

### 現 行（2021 年度申請まで適応）

形成外科専門医制度 細則第 20 条（研修記録）

「(2) 申請者の受け持った患者で直接手術に関与した **20 症例の症例の一覧表**」, 「(3) 申請者が術者として手術を行った **10 症例についての所定の病歴要約**」の症例にはそれぞれ以下の 11 項目中 8 項目以上を含まねばならない。

- (1) 新鮮熱傷（全身管理を要する非手術例を含む）
- (2) 顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷
- (3) 唇裂・口蓋裂
- (4) 手, 足の先天異常, 外傷
- (5) その他の先天異常
- (6) 母斑, 血管腫, 良性腫瘍
- (7) 悪性腫瘍およびそれに関連する再建
- (8) 瘢痕, 瘢痕拘縮, ケロイド
- (9) 褥瘡, 難治性潰瘍
- (10) 美容外科
- (11) その他

ただし、同一症例の同一部位は、1 項目としてのみ適用される。同一症例の同一部位は、一人の研修者の記録としてのみ適用される。同一症例であっても、疾患、部位が異なる場合は、この限りではない。

**変更後**（2022年度申請から適応）

「(2) **20 症例の症例の一覧表**」：資料提出はなくなります。（形成外科領域専門医制度細則（新制度）を参照）

「(3) **10 症例についての所定の病歴要約**」：下記一覧（形成外科領域研修カリキュラムより）に準じて以下のようになります。

- ・ I から VIII までの NCD 形成外科疾患大分類を基本とする（Extract は除く）
  - ・ 5 大分類以上を含む
  - ・ 同一の下位分類からは術式の異なる 2 例まで
- ※マイナー症例の判断と取り扱いは現状のままで変更はありません

**形成外科領域専門研修における必要経験症例数一覧**

**A：指定症例の内訳と総計**

NCD形成外科疾患大分類	下位分類	経験症例数（執刀数） <small>（経験症例数内に執刀数を含む）</small>
I 外傷	熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷 顔面軟部組織損傷 顔面骨折 上肢・下肢の外傷	60 (10)
II 先天異常	唇裂・口蓋裂 頭蓋・顎・顔面・頸部 四肢	15 (4)
III 腫瘍	良性腫瘍・母斑・血管腫 悪性腫瘍 腫瘍切除後の組織欠損	90 (18)
IV 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド		15 (3)
V 難治性潰瘍	褥瘡・その他の潰瘍（下腿・足潰瘍を含む）	25 (3)
VI 炎症・変性疾患	四肢・体幹・その他の炎症・変性疾患	VIIIと合わせて15 (2)
VII 美容	備考：必要経験症例には含まれない	0 (0)
VIII その他	眼瞼下垂、腋臭症、その他	VIと合わせて15 (2)
<b>Extract. 顔面神経麻痺</b>	本疾患は、NCD形成外科疾患大分類のI～VIのいずれかに含まれ、症例数も上記のI～VIにカウントされる。	上記必要経験症例数内で1例以上含むこと
<b>指定症例の総計</b>		<b>220 (40)</b>

**B：自由選択枠の症例数**

備考：NCD形成外科疾患大分類の全疾患がカウント可能  
備考：VII美容は手術、処置（非手術・レーザー）のカウント可能

80 (40)

**C：総合計症例数**

300 (80)

※大分類の必要経験症例数は必須だが、研修カリキュラム内に記載の下位分類の経験症例数は目標であって必須ではない。

★ 2022 年度以降の専門医申請者（旧制度での申請者も同様です）は、上記変更後の要件を考慮し準備を進めていただきますようお願いいたします。

問い合わせ先：日本形成外科学会事務局

TEL：03-5287-6773 E-mail：jsprs-office01@shunkosha.com

以上